

家畜保健衛生だより

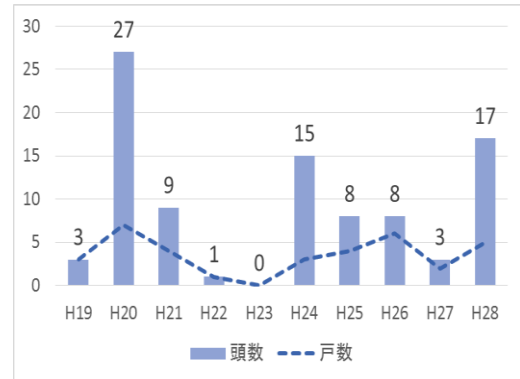
平成29年度 第3号

日本脳炎の予防をしましょう！

日本脳炎ウイルスによって起こる日本脳炎は、「流行性脳炎」として家畜の監視伝染病に指定されています。主にコガタアカイエカという蚊がウイルスを媒介し、吸血によって家畜や人への感染が起こります。

免疫を持たない妊娠豚が感染すると、分娩した子豚の約40%に異常子（白子、黒子、ミイラ化胎子）等が発生するといわれています。

全国の発生状況



➤異常産予防にはワクチン接種が有効です！

母豚に対して、ウイルス流行開始時期までに十分な免疫を与えることが重要です。

➤蚊の発生源対策・吸血防止対策もあわせて実施しましょう！



茨城県で7年ぶりにオーエスキー病の発生がありました

発生地域： 茨城県 県南地域

発生状況： 3月上旬 分娩舎母豚が食欲不振、哺乳豚の死亡

3月中旬 複数の母豚で同様の症状がみられ、哺乳豚の死亡頭数が増加

3月24日 哺乳豚4頭の病性鑑定を実施し、オーエスキー病と診断

本病の発生予防のためには、各農場での確実な侵入防止対策実施が最も重要です。飼養衛生管理基準に基づいた防疫対策の徹底を引き続きお願いします。

- ✓ 衛生管理区域への必要のない者の立ち入りの制限
- ✓ 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒
- ✓ 衛生管理区域及び畜舎に立ち入る者の消毒
- ✓ 畜舎等及び器具の定期的な清掃又は消毒
- ✓ 密飼いの防止
- ✓ 導入豚の隔離飼養の実施 など



異常が見られた場合には、
直ちに家畜保健衛生所まで御連絡ください。

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL : 0463-58-0152 FAX : 0463-58-5679